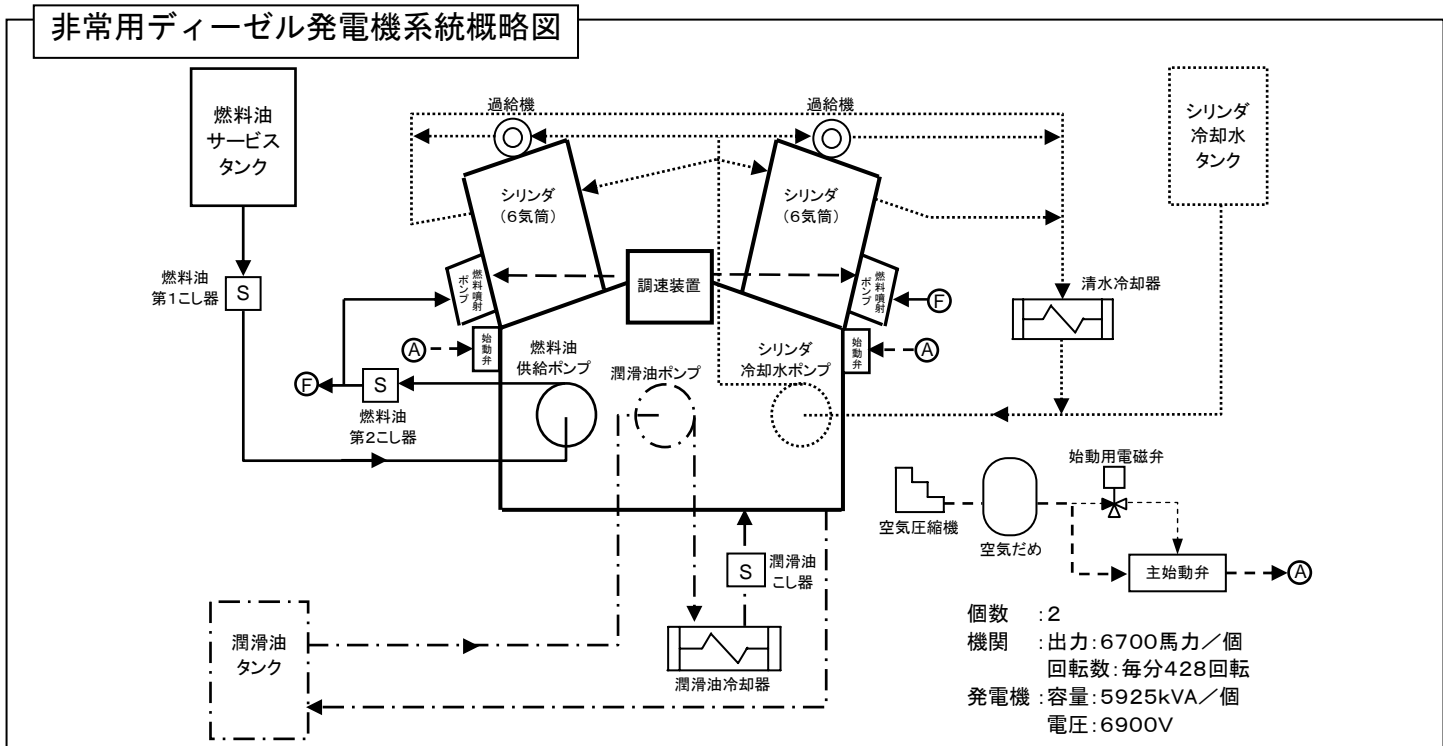


泊発電所1号機 非常用ディーゼル発電機起動不能の原因と対策についての説明図(1/2)



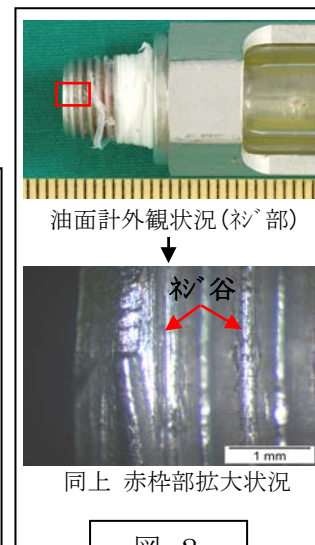
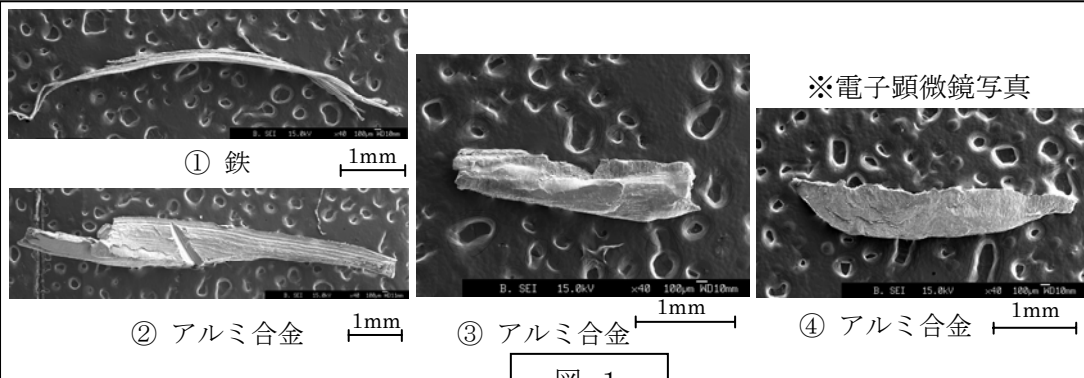
調査結果

1 A - 非常用ディーゼル発電機

調速装置をメーカーの工場に持込み調査を行った結果、以下が判明。

- ・金属の異物が認められ、成分分析の結果、鉄およびアルミ合金と判明。(図1)
- ・油面計の接続ネジ部に損傷が確認された。(図2)

⇒ 異物(金属片)は、油面計ネジ部のものと推定。

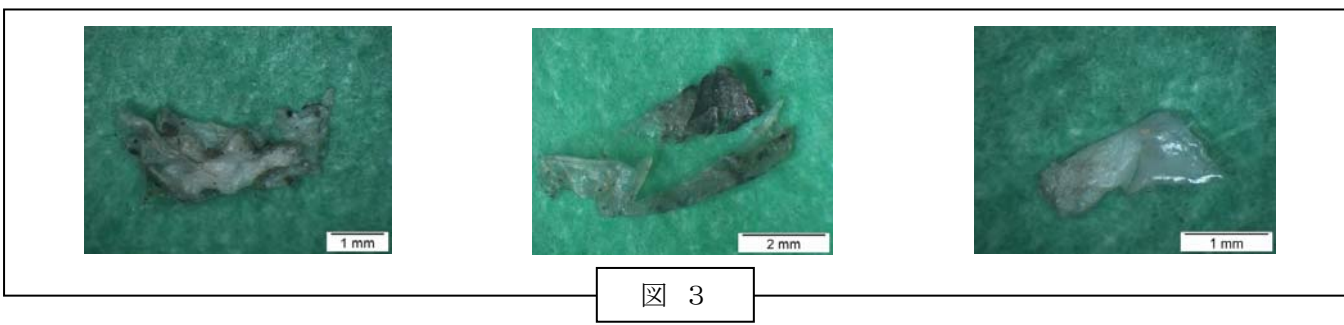


1 B - 非常用ディーゼル発電機

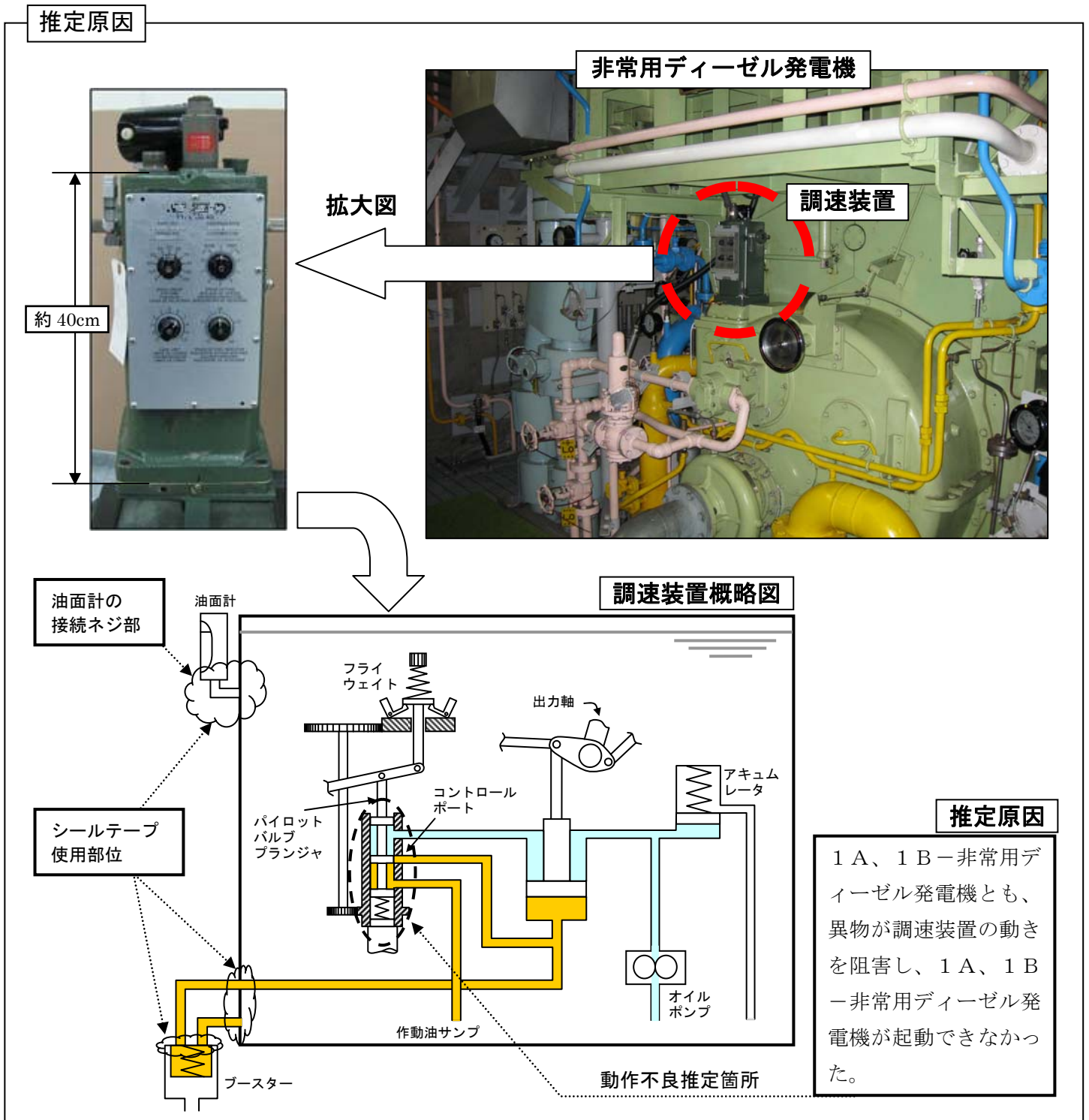
調速装置をメーカーの工場に持込み調査を行った結果、以下が判明。

- ・調速装置内部にシールテープと思われる異物の混入が確認された。(図3)

⇒ 成分分析を行った結果、異物はシールテープであることを確認。



泊発電所1号機 非常用ディーゼル発電機起動不能の原因と対策についての説明図(2/2)



- 対策**
- 1 A、1 B-非常用ディーゼル発電機とも、調速装置を工場で分解点検し、異物を除去した。
 - 1 A-非常用ディーゼル発電機の調速装置については、パイロットバルブプランジャおよび油面計を交換した。
 - 1 B-非常用ディーゼル発電機の調速装置については、油面計を交換した。
- なお、再発防止対策として以下の事項を実施する。
- ・ 調速装置等の継手部の現地脱着作業の取りやめ
 - ・ 調速装置ネジ部のシール方法の改善
 - ・ 異物混入防止対策の改善